

教育課程（博士課程）

1 授業の履修要領

(1) 修了要件

博士課程を修了するには、次の要件が必要である。

- ① 在学期間が4年間以上であること。ただし、優れた研究業績をあげた者については3年間以上の在学期間で足りるものとする。
- ② 所定の授業科目について30単位以上修得すること。
- ③ 必要な研究指導を受け学位論文を提出し、その審査及び最終試験に合格すること。

(2) 履修科目と指導教員

- ① 学生は大学院を構成する次の科目群の中から1科目を主に履修する科目（主科目）として選択する。主科目は学生の希望と適性、入学試験の成績及び入学定員の充足状況などを加味して、入学時に決定される。主科目を担当する教員は主任指導教員となる。

専攻	領域	科目群
地域医療 人間総合 医学専攻	地域医療総合 医学領域	総合診療医学、医療統計・データ管理学、環境保健予防医学、公衆衛生学
	人間総合医療 学領域	リハビリテーション医学、法医学、医療薬学、時間感染症学、医学領域知的財産学、臨床遺伝学
	発生分化・加 齢制御医学領 域	消化器病腫瘍学、呼吸機能制御医学、呼吸器外科学、臓器発生・再生医学、神経再生医療学、発達小児科学、循環腎機能病態学、心血管・腎・代謝病態学
	生体防御医学 領域	感染防御・制御学、臨床感染症学、侵襲制御医学、生体危機管理学、生体機能制御医学
分子・器 官制御医 学専攻	臨床腫瘍医学 領域	がん治療学、応用血液腫瘍制御学、放射線腫瘍学・放射線医学物理学、緩和医療学、外科腫瘍学・消化器外科治療学
	遺伝子医学領 域	ゲノム医科学、分子医学、分子細胞生物学
	分子腫瘍医学 領域	腫瘍病理学、皮膚腫瘍学、腫瘍免疫学
	器官機能治療 学領域	放射線診断学、循環機能治療学、整形外科学、スポーツ医学、腎・尿路・生殖器治療学、口腔機能治療学、形態・体表機能再生学、婦人生殖器・内分泌治療学、臨床免疫学
情報伝達 制御医学 専攻	神経科学領域	脳神経機能学、加齢制御薬理学、神経・筋機能病態学、精神行動科学、中枢神経機能治療学、視覚機能制御医学、頭頸部腫瘍学
	生体機能制御 学領域	細胞機能情報学、分子医化学、応用分子生物学、臨床病態学、免疫制御医学、分子細胞機能学
	生体構造情報 学領域	分子病態生物学、生体分子形態学、生体機能構造学、分子細胞科学

- ② 大学院を構成する科目群は、「臨床医学研究コース」、「医科学研究コース」、「がん研究コース」のいずれか、もしくは複数のコースを設置している。「臨床医学研究コース」は主にすぐれた臨床研究者を、「医科学研究コース」は医学研究者を、「がん研究コース」は、がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)を養成する。
- ③ 主任指導教員は、学生論文の作成指導を行なうほか、履修科目及びその他の教育研究活動について指導・アドバイスを行なう。副指導教員は、主任指導教員とともに、教育研究活動についての指導・アドバイスを行なう。

(3) 授業科目の履修方法

教育課程表に基づき、主科目と副科目及び共通講義について、必要な単位を修得する。

① 主科目

ア 学位論文の作成をおこなう科目である1科目を選択し、さらに主科目に「臨床医学研究コース」、「医科学研究コース」、「がん研究コース」が併設されている場合は、1つのコースを選択する。

イ 選択した主科目とコースに係る「主科目履修届」を入学時の5月末までに学務課大学院係に提出すること。

② 副科目

ア 主科目における研究の遂行上、必要となる知識、技術を補完する科目をいう。

イ 選択したコース毎に定められた科目のうち、主科目とは異なる科目を2つ以上選択する。

ウ 選択した副科目に係る「副科目履修届」を5月末までに学務課大学院係に提出すること。

③ 地域医療

「地域医療」は研究を推進しながら、同時に、臨床医として地域の医療を理解し、専門技術の向上と幅広い知識を習得することを目的とする。大学院臨床教授等の指導のもとに地域医療機関において研修と研究を行なう。「臨床医学研究コース」では、「地域医療」が1年以上2年以下の必修科目となる。「医科学研究コース」、「がん研究コース」では「地域医療」は選択科目となり、希望者は研究に支障をきたさない範囲において2年以内の研修期間で「地域医療」を選択することができる。なお、「地域医療」を選択する場合は、事前に研究科委員会において承認が必要なため、研修を始める日の3週間前までに学務課大学院係に「地域医療機関研修申請書」を提出すること。

④ 共通講義

研究に必要な基礎知識や方法論の修得、また、学内外における最先端の研究成果及び発展状況の教授研究を目的として、複数の教員によるセミナー形式の講義を実施する。

ア 前期研修プログラム（基礎講義）

大学院医学研究科の概要および履修方法、研究の基本、大学内の利用できる施設の説明をおこなう。

イ 前期研修プログラム（医学研究入門セミナー）

研究を始め、進めていくにあたって必要とされる基礎的な知識を講義する。

ウ 基礎医学セミナー

医学研究に用いられる各種の実験方法について、その手技や用いる機器の扱い方を各分野のエキスパートが具体的にわかりやすく説明する。

エ 先端医学セミナー

各研究室でおこなわれている研究をオムニバス形式で紹介し、研究手法を学ぶとともに研究の最先端を知る。

オ 臨床医学セミナー

臨床医として必要な知識を各分野のエキスパートがわかりやすく講義する。

カ 医学研究セミナー

学内外の講師による最先端の医学研究を紹介する。

キ 北海道がんセミナー

学内外の講師による、専門的ながん研究、がん医療について講義する。

⑤ 全国がんセミナー

「大学院医学研究科博士課程 がん研究コース」の「全国がんセミナーについて」をご覧ください。

⑥ がん研究コース専門履修科目

ア 「大学院医学研究科博士課程 がん研究コース」の「がん研究コース専門履修科目（必修選択）について」をご覧ください。

イ 選択したがん研究コース専門履修科目に係る「がん研究コース専門履修科目コース選択届」を5月末までに研究支援課外部資金係に提出すること。

(4) 履修単位

修了要件に必要な修得単位は30単位以上とする。

単位数及び履修基準については、「2 授業科目」に掲載する。

(5) 単位修得の認定方法

① 授業科目の担当教員が、試験（口答又は筆答）又は研究報告の審査等により行なう。

② 授業科目の成績は、優、良及び可を合格とし、不合格は60点未満とする。

③ 評価基準は、100点満点で、合格は60点以上、不合格は60点未満とする。

評語	達成度	評価点	合否種別
優	科目の到達目標を十分に達成している。	80点以上	合格
良	科目の到達目標を達成している。	70点以上 80点未満	
可	科目の到達目標を最低限度達成している。	60点以上 70点未満	
不可	科目の到達目標を達成していない。	60点未満	不合格

④ 授業科目の成績報告時期は、1年次から3年次までの学生については毎年3月末とし、それ以外の学生については学位論文提出前とする。

(6) 最終試験

所定の単位を修得し学位論文を提出した者は最終試験の受験が許可される。

最終試験は学位論文の審査を中心として口答又は筆答によって行なう。

論文審査及び最終試験に合格した者は、札幌医科大学修了式において学位記を交付する。

(7) その他

① 大学院学生国内留学の取扱い

ア 本学大学院医学研究科と同等以上と認められる国内の大学・研究機関において、学生が課程履修上必要な研究に従事する場合、当該研究期間は本学の在学期間として取り扱うものとする。ただし、留学期間は、原則として1年以内とする。

イ 留学しようとする学生は、主任指導教員を経て国内留学願を学長に提出する。

ウ 国内留学は、医学研究科委員会の議を経て学長が許可する。必要がある場合は、主任指導教員に医学研究科委員会において所要事項の説明を求める。

エ 留学を終了した学生は、帰学後速やかに国内留学修了届に留学中に得た成果についての報告書（4,000字以内）を添付し、主任指導教員及び医学研究科長を経て学長に提出する。

② 大学院学生国外留学の取扱い

ア 本学大学院医学研究科と同等以上と認められる外国の適当な大学・研究機関において、自らの研究テーマに関連する純粋な研究（単なる修練、視察等を除く）に従事し、かつ、研究終了時に当該大学・研究機関から本学医学研究科における相当期間の授業と同程度の成果を収めた旨の証明を得られた場合は、この研究期間を在学期間として取り扱うものとする。ただし、留学期間は、原則として1年間以内とする。

イ 留学しようとする学生は、主任指導教員を経て外国留学願を学長に提出する。

ウ 外国留学は、医学研究科委員会の審議（主任指導教員は必要な事項について説明する。）を経て学長が許可する。

エ 留学を終えた学生は、帰国後速やかに外国留学修了届に成果証明及び留学して得た成果についての報告書（4,000字以内）を添付し、主任指導教員及び医学研究科長を経て学長に提出する。

オ 成果証明が得られない場合、大学院在学期間への留学期間の算入と単位認定を行わない。

2 授業科目

【博士課程】

専攻	領域	授業科目	講座等の名称	分野等の名称	指導教員	臨床医学 研究 コース	医科学 研究 コース	がん 研究 コース	単位数		
									主科目	副科目	
地域医療 人間総合 発生分化・ 加齢制御 生体防御	地域医療総合医学	環境保健予防医学講義	社会医学講座	衛生学分野	小林宣道 教授		○		4	1	
		環境保健予防医学演習							8	1	
		公衆衛生学講義	社会医学講座	公衆衛生学分野	大西浩文 教授		○	○	4	1	
		公衆衛生学演習							8	1	
		医療統計・データ管理学講義	医療統計・ データ管理学講座	-	樋之津史郎 教授		○	○	4	1	
		医療統計・データ管理学演習							8	1	
		総合診療医学講義	総合診療医学講座	-	(選考予定)		○	○	4	1	
		総合診療医学演習							8	1	
	人間総合医療学	法医学講義	法医学講座	-	渡邊 智 教授		○	○	4	1	
		法医学演習							8	1	
		医学領域知的財産学講義	先端医療知財学講座	-	(選考予定)			○	○	4	1
		医学領域知的財産学演習								8	1
		臨床遺伝学講義	ゲノム予防医学講座	臨床ゲノム学分野	(選考予定)		○	○	○	4	1
		臨床遺伝学演習								8	1
		リハビリテーション医学講義	リハビリテーション 医学講座	-	梅本安則 教授		○	○	○	4	1
		リハビリテーション医学演習								8	1
		医療薬学講義	医療薬学講座	-	福土将秀 教授			○		4	1
		医療薬学演習								8	1
	時間感染症学講義	物理学	-	鷲見紋子 教授			○		4	1	
	時間感染症学演習								8	1	
	発生分化・ 加齢制御 生体防御	消化器病腫瘍学講義	内科学講座	消化器内科学分野	仲瀬裕志 教授		○	○	○	4	1
		消化器病腫瘍学演習								8	1
		心血管・腎・代謝病態学講義	内科学講座	循環病態内科学分野	古橋真人 教授		○	○		4	1
		心血管・腎・代謝病態学演習								8	1
		呼吸機能制御医学講義	内科学講座	呼吸器・アレルギー内科学分野	千葉弘文 教授		○	○	○	4	1
		呼吸機能制御医学演習								8	1
		呼吸器外科学講義	外科学講座	呼吸器外科学分野	宮島正博 教授		○	○	○	4	1
		呼吸器外科学演習								8	1
		発達小児科学講義	小児科学講座	-	津川 毅 教授		○	○	○	4	1
		発達小児科学演習								8	1
		循環腎機能病態学講義	医療安全・ 病院管理学講座	-	橋本暁佳 教授		○	○		4	1
		循環腎機能病態学演習								8	1
		臓器発生・再生医学講義	再生医学研究所	組織再生学部門	(選考予定)			○		4	1
		臓器発生・再生医学演習								8	1
		神経再生医療学講義	再生医学研究所	神経再生医療学部門	本望 修 教授		○	○		4	1
		神経再生医療学演習								8	1
		感染防御・制御学講義	感染症講座	微生物学分野	横田伸一 教授			○		4	1
		感染防御・制御学演習								8	1
	臨床感染症学講義	感染症学講座	感染症学分野	黒沼幸治 教授		○	○		4	1	
	臨床感染症学演習								8	1	
	侵襲制御医学講義	麻酔科学講座	-	山蔭道明 教授		○	○		4	1	
	侵襲制御医学演習								8	1	
生体危機管理学講義	救急医学講座	-	成松英智 教授		○	○		4	1		
生体危機管理学演習								8	1		
生体機能制御医学講義	集中治療医学講座	-	数馬 聡 教授		○	○		4	1		
生体機能制御医学演習								8	1		

専攻	領域	授業科目	講座等の名称	分野等の名称	指導教員	臨床医学 研究 コース	医科学 研究 コース	がん 研究 コース	単位数		
									主科目	副科目	
分子・ 器官制御医学専攻	臨床腫瘍医学	がん治療学講義	内科学講座	腫瘍内科学分野	高田弘一 教授			○	4	1	
		がん治療学演習							8	1	
		応用血液腫瘍制御学講義	内科学講座	血液内科学分野	小船雅義 教授	○	○	○	4	1	
		応用血液腫瘍制御学演習							8	1	
		外科腫瘍学・消化器外科治療学講義	外科学講座	消化器外科学分野 乳腺・内分泌外科学分野	穴澤貴行 教授	○	○	○	4	1	
		外科腫瘍学・消化器外科治療学演習							8	1	
		放射線腫瘍学・放射線医学物理学講義	放射線医学講座	放射線治療学分野	染谷正則 教授	○	○	○	4	1	
		放射線腫瘍学・放射線医学物理学演習							8	1	
		緩和医療学講義	麻酔科学講座	-	山蔭道明 教授	○	○	○	4	1	
		緩和医療学演習							8	1	
	遺伝子医学	ゲノム医科学講義	ゲノム予防医学講座	ゲノム医科学分野	(選考予定)			○	○	4	1
		ゲノム医科学演習								8	1
		分子医学講義	免疫学研究所	分子医学部門	(未定)			○		4	1
		分子医学演習								8	1
		分子細胞生物学講義	生物学	-	佐々木泰史 教授			○	○	4	1
		分子細胞生物学演習								8	1
	分子腫瘍医学	腫瘍免疫学講義	病理学講座	病理学第一分野	(選考予定)			○	○	4	1
		腫瘍免疫学演習								8	1
		皮膚腫瘍学講義	皮膚科学講座	-	(選考予定)			○	○	4	1
		皮膚腫瘍学演習								8	1
		腫瘍病理学講義	病理診断学講座	-	渡邊麗子 教授	○	○	○	4	1	
		腫瘍病理学演習							8	1	
	器官機能治療学	臨床免疫学講義	内科学講座	免疫・リウマチ 内科学分野	(選考予定)			○	○	4	1
		臨床免疫学演習								8	1
		循環機能治療学講義	外科学講座	心臓血管外科学分野	(選考予定)			○	○	4	1
		循環機能治療学演習								8	1
		整形外科講義	整形外科講座	-	寺本篤史 教授	○	○	○	4	1	
		整形外科演習							8	1	
		婦人生殖器・内分泌治療学講義	産婦人科学講座	産婦人科学分野 産科周産期科学分野	齋藤 豪 教授	○	○	○	4	1	
		婦人生殖器・内分泌治療学演習							8	1	
		腎・尿路・生殖器治療学講義	泌尿器科学講座	-	舩森直哉 教授	○	○	○	4	1	
		腎・尿路・生殖器治療学演習							8	1	
		放射線診断学講義	放射線医学講座	放射線診断学分野	(選考予定)			○	○	4	1
		放射線診断学演習								8	1
		口腔機能治療学講義	口腔外科学講座	-	宮崎晃巨 教授	○	○	○	4	1	
		口腔機能治療学演習							8	1	
		形態・体表機能再生学講義	形成外科学講座	-	四ツ柳高敏 教授	○	○	○	4	1	
		形態・体表機能再生学演習							8	1	
		スポーツ医学講義	スポーツ医学講座	-	渡邊耕太 教授	○	○	○	4	1	
		スポーツ医学演習							8	1	

専攻	領域	授業科目	講座等の名称	分野等の名称	指導教員	臨床医学 研究 コース	医科学 研究 コース	がん 研究 コース	単位数	
									主科目	副科目
情報伝達制御医学専攻	神経科学	脳神経機能学講義	生理学講座	神経科学分野	佐々木祐典 教授		○		4	1
		脳神経機能学演習							8	1
		加齢制御薬理学講義	薬理学講座	-	久野篤史 教授		○		4	1
		加齢制御薬理学演習							8	1
		神経・筋機能病態学講義	内科学講座	神経内科学分野	久原真 教授	○	○		4	1
		神経・筋機能病態学演習							8	1
		中枢神経機能治療学講義	脳神経外科学講座	-	三國信啓 教授	○	○	○	4	1
		中枢神経機能治療学演習							8	1
		視覚機能制御医学講義	眼科学講座	-	(選考予定)	○	○	○	4	1
		視覚機能制御医学演習							8	1
		頭頸部腫瘍学講義	耳鼻咽喉科・頭頸部 外科学講座	-	高野賢一 教授	○	○	○	4	1
		頭頸部腫瘍学演習							8	1
	精神行動科学講義	精神医学講座	-	河西千秋 教授	○	○	○	4	1	
	精神行動科学演習							8	1	
	生体機能制御学	細胞機能情報学講義	生理学講座	細胞生理学分野	佐藤達也 教授		○		4	1
		細胞機能情報学演習							8	1
		分子医化学講義	生化学講座	医化学分野	高橋素子 教授		○		4	1
		分子医化学演習							8	1
		応用分子生物学講義	生化学講座	分子生物学分野	鈴木 拓 教授		○	○	4	1
		応用分子生物学演習							8	1
		臨床病態学講義	感染制御・ 臨床検査医学講座	-	高橋 聡 教授	○	○	○	4	1
		臨床病態学演習							8	1
		免疫制御医学講義	免疫学研究所	免疫制御医学部門	一宮慎吾 教授		○	○	4	1
		免疫制御医学演習							8	1
		分子細胞機能学講義	化学	-	(選考予定)		○		4	1
		分子細胞機能学演習							8	1
	生体構造情報学	生体分子形態学講義	解剖学講座	細胞組織学分野	大崎雄樹 教授		○		4	1
		生体分子形態学演習							8	1
		生体機能構造学講義	解剖学講座	機能構造学分野	永石敏和 教授		○		4	1
		生体機能構造学演習							8	1
		分子病態生物学講義	病理学講座	病理学第二分野	小山内誠 教授		○	○	4	1
		分子病態生物学演習							8	1
		分子細胞科学講義	がん研究所	細胞科学部門	(選考予定)		○	○	4	1
分子細胞科学演習		8							1	

科目	臨床医学研究コース	医科学研究コース	がん研究コース
地域医療	4-8単位 (うち4単位は必修)	0-4単位 (選択)	0-4単位 (選択)
共通講義	前期研修プログラム	2単位 (必修)	
	基礎医学セミナー	各2単位 (選択)	
	臨床医学セミナー		
	先端医学セミナー		
	医学研究セミナー		
	全国がんセミナー	2単位 (選択)	2単位 (必修)
北海道がんセミナー	1単位 (選択)	1単位 (必修)	
がん専門医療人セミナー			1単位 (必修)

科目名	単位数
がん薬物療法学	1単位
緩和・終末期医療学	1単位
放射線腫瘍学	1単位
がん学際領域	1単位
予防医学	1単位
がん遺伝医学	1単位
がん病理学	1単位
がん免疫学	1単位
がんゲノム学	1単位
4-8単位	

○履修基準

区分		付与 単位数	臨床医学研究コース		医科学研究コース		がん研究コース	
			必修	必修選択	必修	必修選択	必修	必修選択
主科目		12単位 (講義:4単位 演習:8単位)	12単位	/	12単位	/	12単位	/
副科目		1科目につき 2単位 (講義:1単位 演習:1単位)	4単位	/	4単位	0-2単位	4単位 ※2科目 がん研究コース分野毎に定められた科目のうち、主科目以外より選択	*1 *1~3で 0-4単位
共通講義	前期研修プログラム	2単位	2単位	/	2単位	/	2単位	/
	基礎医学セミナー ☆	2単位	/	/	/	/	/	*2 *1~3で 0-4単位
	先端医学セミナー ☆	2単位	4単位以上	/	/	8単位以上 (先端医学セミナーのみ 4単位まで 取得可能)	2単位	
	臨床医学セミナー	2単位						
	医学研究セミナー	2単位						
	全国がんセミナー ☆	2単位						
北海道がんセミナー ☆	1単位	1単位						
地域医療	研修期間半年 2単位	4単位	0-4単位	/	0-4単位	/	*3 *1~3で 0-4単位	
がん専門医療人セミナー		1単位	/	/	/	/	1単位	/
がん研究 コース専門 履修科目	がん薬物療法学	1単位	/	/	/	/	/	4-8単位
	緩和・終末期医療学	1単位	/	/	/	/	/	
	放射線腫瘍学	1単位	/	/	/	/	/	
	がん学際領域	1単位	/	/	/	/	/	
	予防医学	1単位	/	/	/	/	/	
	がん遺伝医学	1単位	/	/	/	/	/	
	がん病理学	1単位	/	/	/	/	/	
	がん免疫学	1単位	/	/	/	/	/	
がんゲノム学	1単位	/	/	/	/	/		
発表会		3年次前期に研究経過発表会 ・発表時間は一人10分。 ・申請書の提出は専攻長から発表会設定日	※原則6月から7月の第2、第4木曜日、教授会終了後開催する。	/	2年次後期に研究計画発表会 ※原則9月から11月の第2、第4木曜日、教授会終了後開催する。	/	3年次前期に研究経過発表会 ※原則6月から7月の第2、第4木曜日、教授会終了後開催する。	/
修了要件	修得単位	必修 及び 必修選択 から 30単位以上						
	内訳	22単位	8単位以上	18単位	12単位以上	22単位	8単位以上	
	学位論文等	①学位論文:1編 (査読のある医学専門誌に掲載または掲載予定のもの) ②学会等発表 2回(抄録を添付) ③研究指導計画書(在籍年度分)		①学位論文:1編 (査読のある医学専門誌に掲載、または掲載予定のもの) ②研究指導計画書(在籍年度分)		①学位論文:1編 (査読のある医学専門誌に掲載または掲載予定のもの) ②学会等発表 2回(抄録を添付) ③研究指導計画書(在籍年度分)		

≪地域医療とは≫

大学院臨床教授(注1)等の指導のもとに関連医療機関(注2)において研修と研究を行う。
「臨床医学研究コース」では、「地域医療」が1年以上2年以下の必修科目となる。
「医科学研究コース」、「がん研究コース」では「地域医療」は選択科目となり、希望者は研究に支障をきたさない範囲において2年以内の研修期間で「地域医療」を選択することができる。

- 注1…①臨床教授等の推薦は、1科目あたり6名(うち臨床教授は3名)までとなっています。(原則)
②医師でかつ卒後の年数が臨床教授20年、准教授15年、講師10年以上。
③学位を持ち、研究業績があること。
④65歳以下。

注2…臨床教授等(臨床准教授、臨床講師)の指導者がいる病院。

≪e-ラーニングについて≫

大学院の共通講義が1年生から受講可能。
e-ラーニング可能な講義は、「前期研修プログラムのうち医学研究入門セミナー」、「基礎医学セミナー」、「先端医学セミナー」、「北海道がんセミナー」の4種類。

なお、学生の各講義(コマ)の感想・コメントの入力、保存により、当該講義(コマ)の受講とし、出席とします。
詳細につきましては、別途通知いたします。

【全国がんセミナーの履修】

「大学院医学研究科博士課程 がん研究コース」の「全国がんセミナーについて」をご覧ください。

3 共通講義 【博士課程】

科 目	開講時期	担当教員	講義数	単 位 数
前期研修プログラム (基礎講義)	4月中旬 (別途通知)	別途通知	4コマ分 (必須)	2単位
前期研修プログラム (医学研究入門セミナー)	5月中旬～6月下旬 の毎週火曜日 (別途通知)	別途通知	11コマ※1	
基礎医学セミナー	6月中旬～9月上旬 の毎週水曜日 (別途通知)	別途通知	15コマ	2単位※2
先端医学セミナー	10月下旬～12月下旬 の毎週火曜日 (別途通知)	別途通知	15コマ	2単位※2
臨床医学セミナー	別途通知	別途通知	※3	2単位
医学研究セミナー	別途通知	別途通知	※3	2単位
北海道がんセミナー	別途通知	別途通知	8コマ	1単位

1コマは90分講義

※1 単位修得には、6コマ以上の出席が必要。

※2 単位修得には、講義数の3分の2以上の出席が必要。

※3 セミナーの各時間に応じて、単位を認定する。(例)90分のセミナー:0.1334単位

* 全国がんセミナーの履修については、「大学院医学研究科博士課程 がん研究コース」の「全国がんセミナーについて」をご覧ください。

また、がん研究コースの「がん専門医療人セミナー」については、別途通知します。

4 研究計画・研究経過発表会

(1)実施方法

医科学研究コースを選択する学生は、2年次に研究計画発表会を、臨床医学研究コース、がん研究コースを選択する学生は、3年次に研究経過発表会を実施する。

(2)実施時期等

【研究計画発表会】:9月～11月の第2、第4木曜日に開催する。ただし、当該時期に実施できない場合は、翌年6月から7月までに開催する。

【研究経過発表会】:6月～7月の第2、第4木曜日に開催する。ただし、当該時期に実施できない場合は、同年9月から11月までに開催する。

※原則として医学部教授会終了後に実施する。

※専攻長が発表会設定日を学生及び指導教員に通知する。

(3)発表会の運営方法

ア 発表時間及び質疑時間

持ち時間を10分とし、このうちの発表時間と質疑時間の割り振りは専攻長が決定する。

イ 発表方法

開催場所は講義室とし、原則として専攻別に実施する。

ウ 出席者

専攻長、専攻長が指名する若干名、指導教員ほか

エ 司会役

専攻長又は専攻長が指名する者とする。

(4) 手続き

ア 発表会の対象者は、希望する日程を学務課大学院係に申請する。

なお、やむを得ない理由により、設定日時に発表を行えない者は、指導教員の了承を得て、所定の書式による届出を行う必要があるため、事前に事務局学務課大学院係に問い合わせること。

イ 専攻長は発表会の開催を決定し、対象者に通知するものとする。

ウ 発表会にかかる資料は、開催決定通知を受けてから開催週の月曜日までに学務課大学院係あて、2部(専攻長分1部、学務課分1部)提出する。

5 研究指導計画書の作成について

在学している間、毎年作成し、学位論文提出時に在学年分を一括して学務課にご提出いただきます。詳しくは「札幌医科大学大学院医学研究科研究指導計画書について」をご参照ください。

札幌医科大学 大学院医学研究科 研究指導計画書について

1 研究指導計画書の作成について

研究指導計画は、医学研究科での研究活動を主として指導する教員(以下、「指導教員」という。)と学生が十分な打ち合わせ等を行い、研究指導計画書(以下、「指導計画書」という。)により次のとおり作成します。

- (1)指導計画書は別紙様式とし、年度ごとに作成してください。
- (2)学生は指導教員と十分な打ち合わせ等を行い、指導教員の指定する期日までに当該年度の研究計画を記入し、指導教員に提出してください。
- (3)学生は指導教員の指定する期日までに、研究実績・進捗状況を記入し、指導教員に提出してください。
- (4)指導計画書は、更新の都度、指導教員と学生の双方が保管し参照できるようにしてください。
- (5)研究の進捗状況等に応じ、研究指導計画を見直すことができます。
- (6)休学により指導計画書を作成できなかった場合は、復学月の月末までに当該年度分を作成してください。
- (7)令和5年度(2023年度)以前に入学した学生は、令和6年度(2024年度)分から作成します。

2 研究指導計画書の提出について

指導計画書は、次により事務局学務課に提出してください。

(1)博士課程

学位申請時に申請書類に、在籍年度分の指導計画書を添付し提出

(2)修士課程

2年次の論文提出資格申請書に在籍年度分の指導計画書を添付し提出

(3)退学する場合

退学願に退学を希望する年度までの指導計画書を添付し提出

【博士課程用】

年度 札幌医科大学医学研究科 研究指導計画書

学生記入欄

教員記入欄

記入日 年 月 日

所属講座等名	
指導教員名	

専攻名		領域名			
専攻主科目名					
学年		学籍番号		氏名	

研究題目	
------	--

研究計画

研究指導計画

研究実績・進捗状況

達成状況		
<input type="checkbox"/> 十分達成された	<input type="checkbox"/> 概ね達成された	<input type="checkbox"/> あまり達成されなかった
コメント(任意)		